

保護者 様

つくば市立学園の森義務教育学校長 中野 真粧美

令和5年度 学校評価アンケートの結果及び改善に向けた方策について

厳寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
 また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
 さて、12月に実施いたしました学校評価アンケートでは、ご多用のところご協力をいただき、誠にありがとうございました。同時期に実施いたしました学園生（3～9年生）へのアンケートを加えた結果及び改善に向けた方策をまとめましたので、ご覧いただきますようよろしくお願いいたします。

1 集計結果

評価項目	No.	アンケート項目	上段:保護者 下段:学園生				評価
			平均値	4 (%)	3 (%)	4+3(%)	
学び合い高め合う学園生	1	学校は、子供たちが意欲的に授業に取り組めるように工夫をしている。 (わたしは、課題が分かり、進んで授業に取り組んでいる。)	3.1	20.6	59.6	80.2	○
			3.4	48.3	46.1	94.4	◎
	2	学校は、授業を工夫し、子供たちの学力の向上に努めている。 (わたしは、自分の考えをもって授業に取り組んでいる。)	3.0	20.6	53.5	74.1	
			3.4	51.0	40.8	91.8	◎
	3	学校は、子供同士が学び合い高め合えるような授業づくりをしている。 (わたしは、友だちとの学び合いで、新しい考えに気づくことがある。)	3.0	19.4	56.1	75.5	
			3.5	58.2	34.1	92.3	◎
	4	(わたしは、学校の授業で学ぶことが楽しい。)	3.3	46.5	39.0	85.5	○
5	学校は、学習の努力や成果をきちんと評価している。 (わたしは、学習でがんばったことを、先生に認めてもらっている。)	3.1	22.0	59.3	81.3	○	
		3.1	30.3	48.3	78.6		
6	子供は、家庭学習をよく行っている。 (わたしは、家庭学習をよくしている。)	2.8	25.0	42.8	67.8	▲	
		3.1	38.1	39.3	77.4		
7	学校は、一人一台端末を活用したICT教育に積極的に取り組んでいる。 (わたしは、授業において一人一台端末を積極的に活用している。)	3.2	35.3	45.1	80.4	○	
		3.3	48.3	39.5	87.8	○	
心豊かで社会力学的園ある	8	子供は、楽しく学校に通っている。 (わたしは、学校が楽しい。)	3.4	49.5	39.7	89.2	○
			3.4	57.8	30.3	88.1	○
	9	学校は、子供たちのよいところや頑張ったことを認めてくれている。 (わたしには、よいところがあると思う。)	3.2	32.2	53.7	85.9	○
			3.2	47.2	33.9	81.1	○
10	学校は、相手の気持ちを考えて行動できるような集団づくりをしている。 (わたしは、相手の気持ちを考えてつきあおうとしている。)	2.9	17.8	52.1	69.9	▲	
		3.5	52.9	41.1	94.0	◎	
11	学校は、子供たちの悩みや相談などを受け止め、ていねいに対応している。 (わたしがこまったときに、先生は話を聞いてくれる。)	3.0	21.7	47.2	68.9	▲	
		3.3	48.7	39.8	88.5	○	
12	学校は、生活指導(ルールやマナーについての指導)をしっかりと行っている。 (わたしは、学校や学級のきまりを守っている。)	3.0	22.7	55.6	78.3		
		3.4	49.4	44.4	93.8	◎	
たくまがましい学園生	13	学校は、子供たちの自己管理能力の育成に努めている。 (わたしは、自分のことは自分でやるようにしている。)	3.0	18.7	55.8	74.5	
			3.5	54.3	41.3	95.6	◎
	14	学校は、子供たちに、健康や安全についての実践力を高める指導をしている。 (わたしは、自分の健康や安全について考えて行動している。)	3.0	19.6	58.2	77.8	
			3.5	58.3	33.9	92.2	◎
	15	学校は、教育活動を工夫し、子供たちの体力の向上に努めている。 (わたしは、授業や休み時間に運動をして、体力がついてきた。)	2.9	16.4	50.2	66.6	▲
			3.0	42.3	26.9	69.2	▲
16	学校は、子供たちの心身の健全な成長を促している。 (わたしは、自分が成長したと思うことがたくさんある。)	3.0	19.9	56.3	76.2		
		3.4	52.6	35.4	88.0	○	
17	学校は、子供たちの挑戦を認め、応援している。 (わたしは、挑戦することを決めてがんばった。)	3.1	24.5	50.9	75.4		
		3.3	48.8	37.0	85.8	○	
開かれた学校	18	学校は、各種便りを通して、教育活動に関する情報提供に努めている。	3.3	39.5	51.6	91.1	◎
			3.1	29.0	50.0	79.0	
	19	学校は、体験的な学習や外部人材の活用など、人と豊かに関わる学習を行っている。	3.0	28.7	47.0	75.7	
			2.9	17.8	49.8	67.5	▲

平均値：「そう思う」→4、「だいたいそう思う」→3、「あまりそう思わない」→2、「そう思わない」→1として集計
 数値：「4」(そう思う)、「3」(だいたいそう思う)それぞれが全体に占める割合
 4+3：肯定的な回答(4+3)の割合
 評価：「70%以下」→▲、「80%以上」→○、「90%以上」→◎ ※左記以外は空欄で標記

2 考察及び改善に向けての方策

(1) 「学び合い高め合う学園生」について

項目1～項目3のすべてにおいて、学園生の回答が昨年度を上回りました。今年度の本校の取り組みの1つである「課題提示の工夫」により、学園生の興味関心を刺激し、自ら学ぼうとする姿勢が身に付いてきたものと感じます。

昨年度来の課題である項目6は、保護者、学園生ともに低めの数値となっています。学園生が意欲的に取り組める家庭学習の内容や在り方について、今後学校全体で検討してまいります。

保護者自由記述回答からは、デジタルドリルなどを含めた学習者用タブレット端末の積極的かつ効果的な活用へのご意見も複数いただいております。今年度は生成AIも教育現場で扱われ始めました。導入するメリットやデメリット、可能性や課題などを十分検証して、教育活動に活用してまいります。

(2) 「心豊かで社会力のある学園生」について

項目8に関して、学園生自身はもちろん、保護者の皆様にとっても「学校が楽しい」ことが最も大切なことであるかと思われまます。「円滑な人間関係の醸成を図り、一人一人が自己決定し、認め合い高め合う集団づくりを推進する」を重点目標として取り組んできた結果がここに表れてると感じます。今後も、自己有用感を感じられる特別活動の取組などを通して、よりよい集団づくりに取り組んでまいります。

また、項目11の保護者の回答のうち「わからない」の割合が11.4%となっています。これまでも学園生の困り感に寄り添い、学園生および保護者から信頼される学校づくりを目指し、定期的な学校生活アンケートを行い、困り感のある学園生には2者面談や日々の声かけなどを継続してきました。今後も学園生が相談しやすい体制をつくり、多くの教職員で見守ってまいります。保護者の皆様におかれましても、何かございましたら遠慮なく学校までご連絡いただければと思います。

(3) 「活力がありたくましい学園生」について

すべての項目について、昨年度と同程度の評価をいただきました。しかしながら、項目15に関しては、達成状況が不十分であると感じている保護者、生徒が相当数いることが分かりました。次年度に向けて、体力向上プログラムを見直し、9年間の系統性を意識した上での体力づくりを再検討してまいります。

その他、望ましい生活習慣の定着を目指し、「早寝早起き朝ごはん」プロジェクトを推進してまいりました。その結果、食育指導がさらに充実し、自己管理能力の育成や健康に対する意識の高まりが見られました。

また、各種安全教育を実施し、学園生の危険予測・回避能力の向上に努めてまいりました。大規模校であるが故、災害時の避難方法や経路の確認など、今後もいろいろな状況を想定して取り組んでまいります。

(4) 「開かれた学校」について

昨年度、項目19は66.1%という低い数値でしたが、今年度は79.0%となりました。新型コロナウイルス感染症の制限がなくなり、従来の教育活動が展開できた結果であると感じております。しかしその一方で、保護者の自由記述回答の中には、つくば市という立地を生かした外部機関との連携の充実を求める意見もございました。学校教育目標に掲げている「自分の可能性に挑戦し、創意をもって未来を切り開く学園生の育成」を目指し、今後も地域と共に歩みながら、人との関わりを大切にした体験活動の充実にも努めてまいります。

令和7年度のコミュニティー・スクールの設立を控え、次年度はその準備期間となります。項目21の数値は低いものとなりましたが、引き続き学校からの情報発信に努めてまいります。保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、「地域と共に歩む学校づくり」を今後なお一層進めてまいります。

3 保護者の皆様からのご意見やご提案(記述の中で複数見られた課題)

○ 挨拶が活発な学園生を目指して

「挨拶ができない児童、生徒がいる」との意見が複数ございました。アンケート項目の12については学園生の回答が90%を超える高い数値となっているので、「自認」と「与える印象」に大きな差があることが分かります。挨拶は生活する上での基本であると考えますので、場面を問わず、進んで挨拶のできる学園生をこれまで以上に増やしていきたいと思っております。

まずは、我々教職員が模範となる挨拶し、挨拶の大切さを考える活動を継続してまいりたいと思っております。学校・家庭・地域が一体となって元気な挨拶ができる子どもたちを育てていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

○ 授業参観などの機会の増加について

今回のアンケートに回答するにあたり、「実感が持てない」、「実際に見る機会がない」など、「わからない」と回答せざるを得ない状況であるというご指摘がございました。

今年度、保護者の方に来校していただく機会としまして、授業参観、学年委員や文化委員主催による講演会、体育祭、運動会などを開催させていただきましたが、ご要望としては授業参観の回数の増加を求めるものが多くありました。感染症への不安も小さくなったので、次年度はもっと学校の様子をお知らせできるよう検討してまいります。

大規模校かつ、1年生から9年生までが在籍する本校におきましては、年間行事数は大小含めるとかなりの数となっておりますが、「信頼される開かれた学校づくり」実現のため、頂戴しました意見を共有し、次年度への工夫、改善に努めてまいります。